

2020年3月期
第2四半期決算報告
(連結ベース)

2019年11月18日

東芝機械株式会社

東芝機械

(成形機、工作機械、その他)

国内製造販売会社 2社

(工作機械、その他) **不二精機製造所**
(その他) **東栄電機**

国内販売・サービス会社 他 3社

(成形機、その他) **東芝機械エンジニアリング**
(その他) **芝浦セムテック**
(その他) **芝浦産業**

赤い枠内は連結各社

(持分法適用会社) 1社
ニューフレアテクノロジー : 15.1%
(非連結子会社) 海外販売会社 9社
その他出資先 1社

海外製造会社 3社

(成形機)
TOSHIBA MACHINE (SHANGHAI) CO., LTD.
TOSHIBA MACHINE MANUFACTURING (THAILAND) CO., LTD.
(成形機、工作機械)
TOSHIBA MACHINE (CHENNAI) PRIVATE LIMITED

海外販売・サービス会社 6社

(成形機、工作機械、その他)
SHANGHAI TOSHIBA MACHINE CO., LTD.
TOSHIBA MACHINE COMPANY, AMERICA
(成形機、工作機械)
TOSHIBA MACHINE (THAILAND) CO., LTD.
TOSHIBA MACHINE SOUTH EAST ASIA PTE.LTD.
(成形機)
TOSHIBA MACHINE (SHENZHEN) CO., LTD.
TOSHIBA MACHINE HONG KONG LTD.

2020年3月期
第2四半期決算概要
(連結ベース)

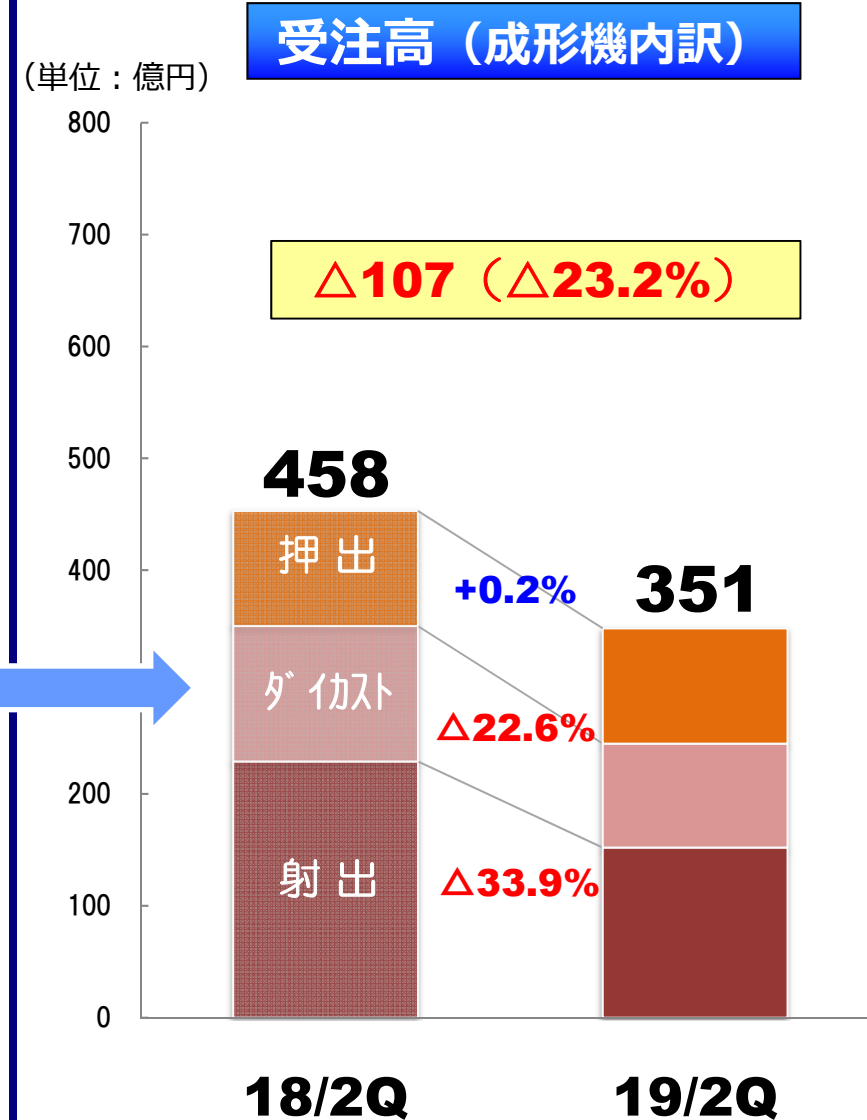
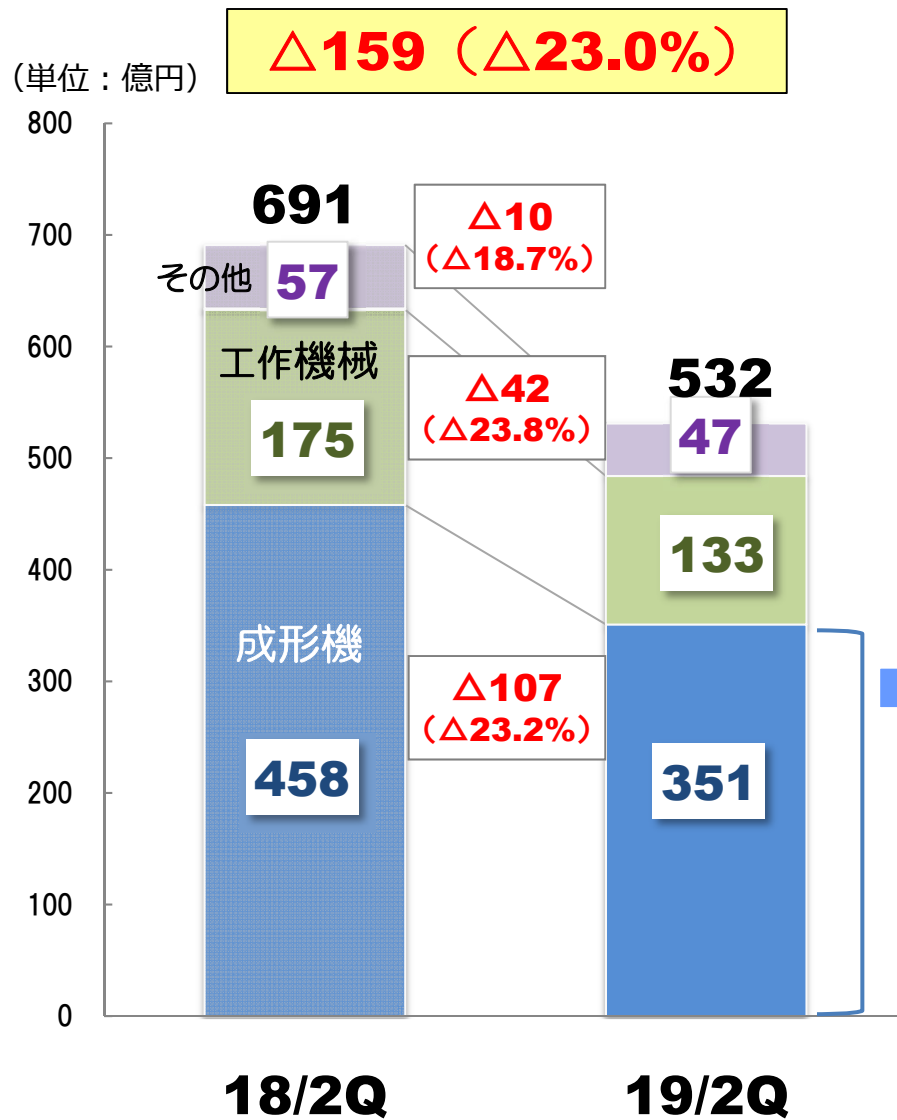
業績サマリー

4

(単位：億円)

	2019年度 2Q	2018年度 2Q	増 減	19/2Q 公表予想 (2019/5/9公表値)
売 上 高	595	594	+1	600
営 業 利 益	16 (2.7%)	16 (2.7%)	+0 (0.0%)	24 4.0%
経 常 利 益	24 (4.0%)	27 (4.5%)	△3 (△0.5%)	27 4.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	16 (2.7%)	19 (3.3%)	△3 (△0.5%)	20 3.3%
受 注 高	532	691	△159	600
為替レート (USD)	108 円	114 円		105 円
ROE (純利益/自己資本)	3.9%	4.7%		
ROA (純利益/総資産)	2.2%	2.6%		

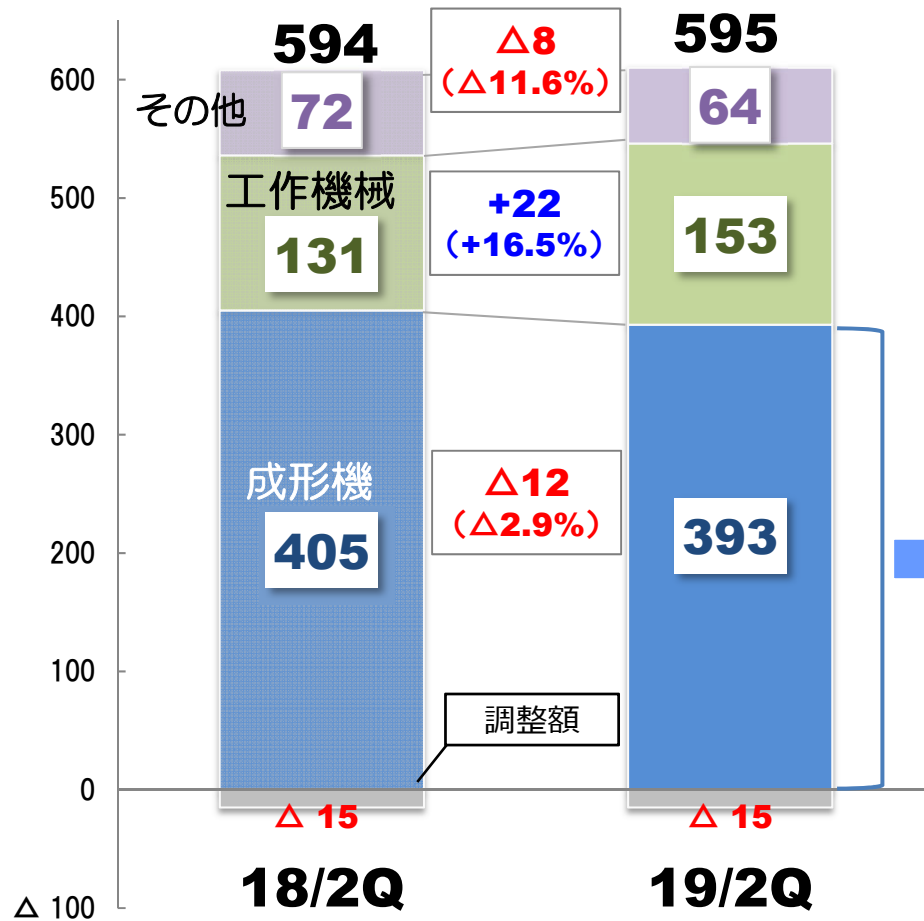
受注高 (セグメント)



売上高 (セグメント)

(単位：億円)
※連結消去後

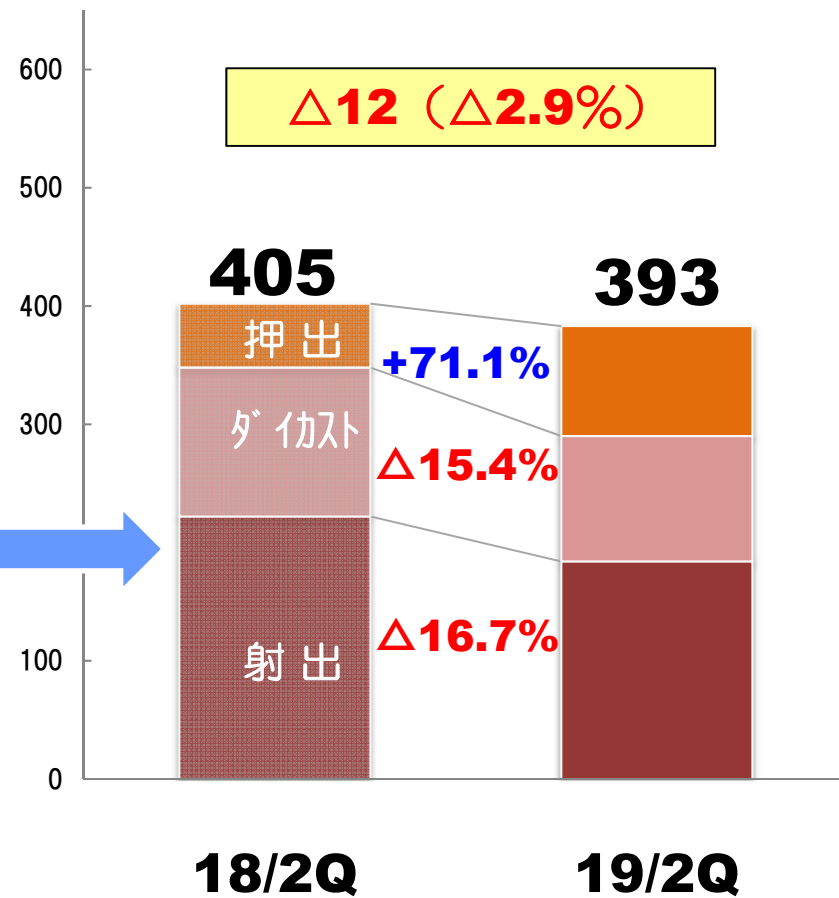
+1 (+0.2%)



(単位：億円)
※連結消去後

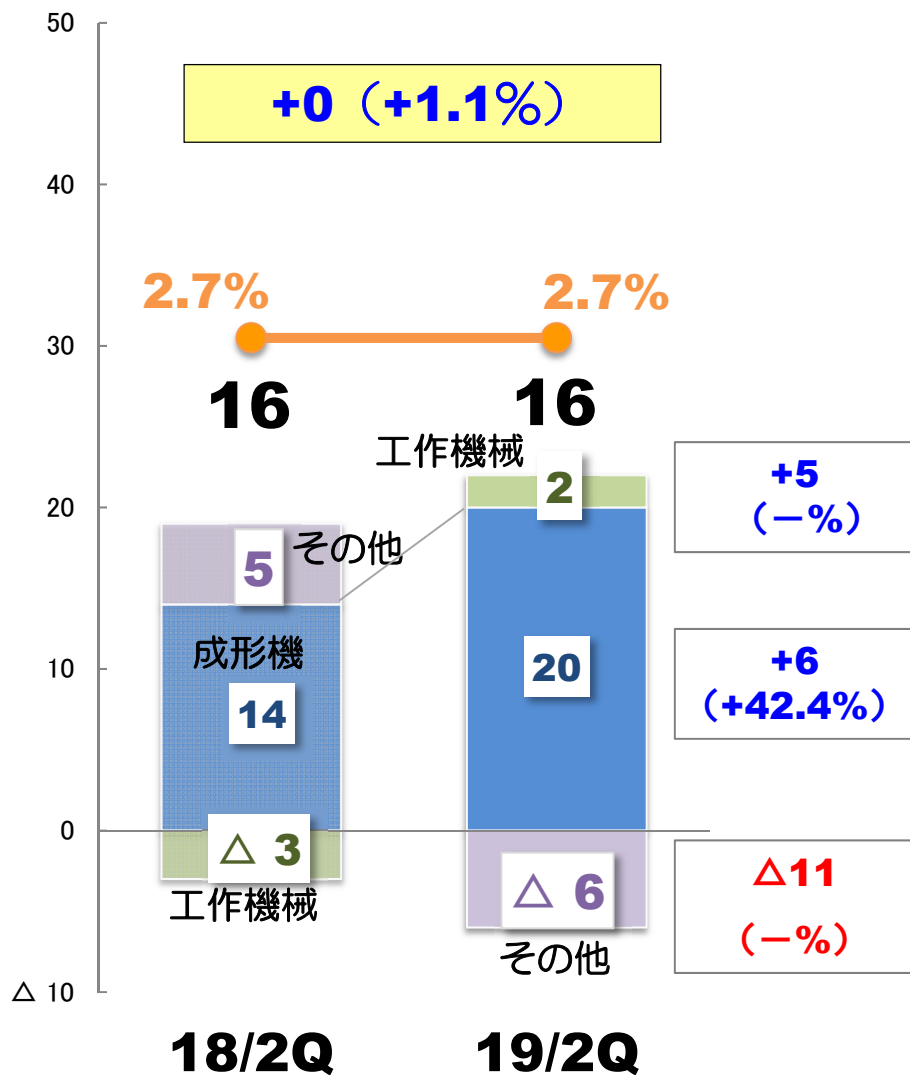
売上高 (成形機内訳)

△12 (△2.9%)



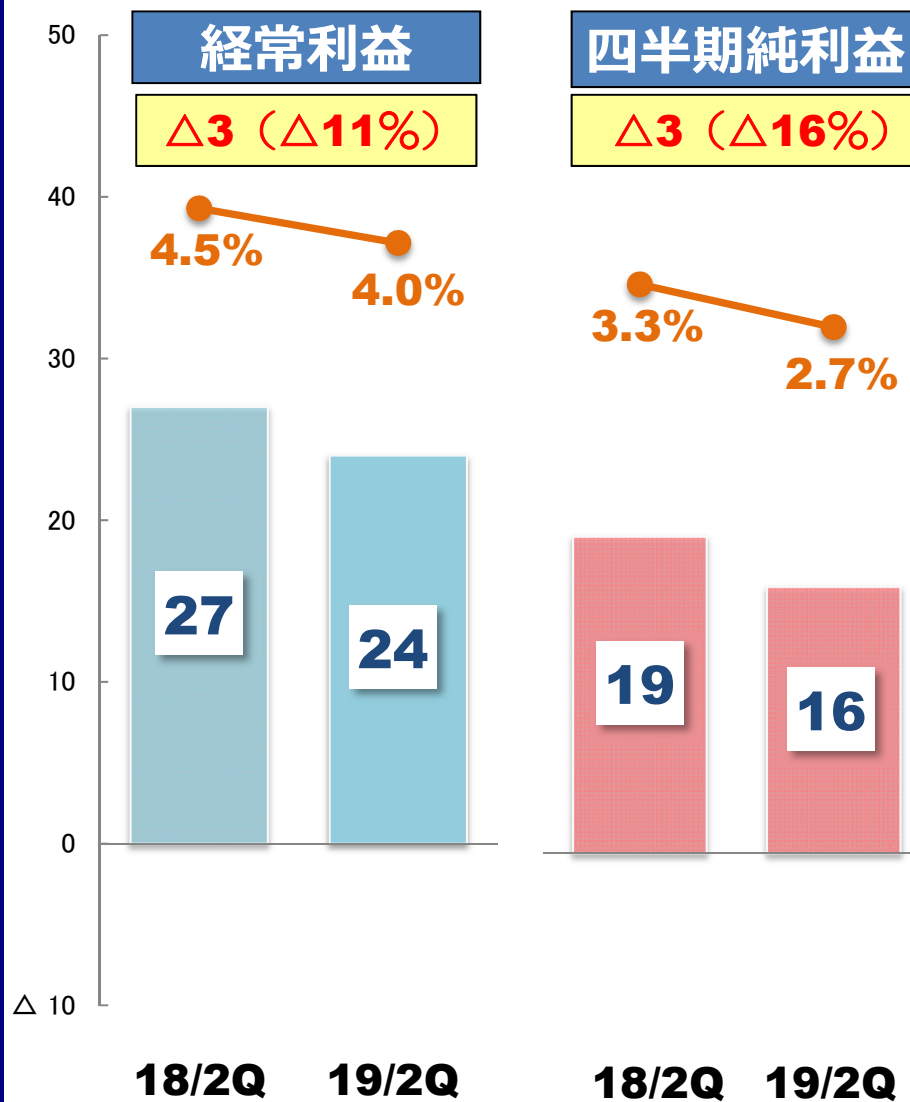
営業利益 (セグメント)

(単位：億円)
※連結消去後



経常利益・四半期純利益

(単位：億円)



(成形機) セグメント業績

8

(単位：億円)

(射出成形機・ダイカストマシン・押出成形機など)

	2019/2Q	2018/2Q	増減額	増減率
売上高	393	405	△12	△2.9%
営業利益	20	14	+6	+42.4%
利益率	5.3%	3.6%	+1.7%	

2019年度2Q 業績要因分析

+

ポジティブ・ファクター

- 【射出】海外の医療・容器関連向け内需堅調
- 【DC】EV関連向け需要が好調
- 【押出】光学フィルム向け需要が堅調
- 【押出】中国LiBフィルム向け大型案件の納期調整が一部解消

-

ネガティブ・ファクター

- 【射出】自動車向け設備投資が軟調
- 【DC】海外の自動車向けが減少
- 貿易摩擦長期化による設備投資意欲の停滞

(単位：億円)

(工作機械、精密加工機など)

	2019/2Q	2018/2Q	増減額	増減率
売上高	153	131	+22	+16.5%
営業利益	2	△3	+5	—
利益率	1.5%	△2.8%	+4.3%	

2019年度2Q 業績要因分析

+

ポジティブ・ファクター

- 【大型】国内産機・建機、中国・東南アジア産機向け好調
- 【精密】国内及び海外の光学関連向け引き続き堅調

-

ネガティブ・ファクター

- 【大型】国内半導体・鉄鋼向け低迷
- 貿易摩擦長期化による設備投資意欲の停滞
- 部材調達難・価格上昇の影響が残った

(単位：億円)

(産業用ロボット、電子制御装置など)

	2019/2Q	2018/2Q	増減額	増減率
売上高	64	72	△ 8	△ 11.6%
営業利益	△ 6	5	△ 11	—
利益率	△ 10.8%	8.0%	△ 18.8%	

2019年度2Q 業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 東南アジア向けにロボット需要増加
- 主要部材の調達難は改善



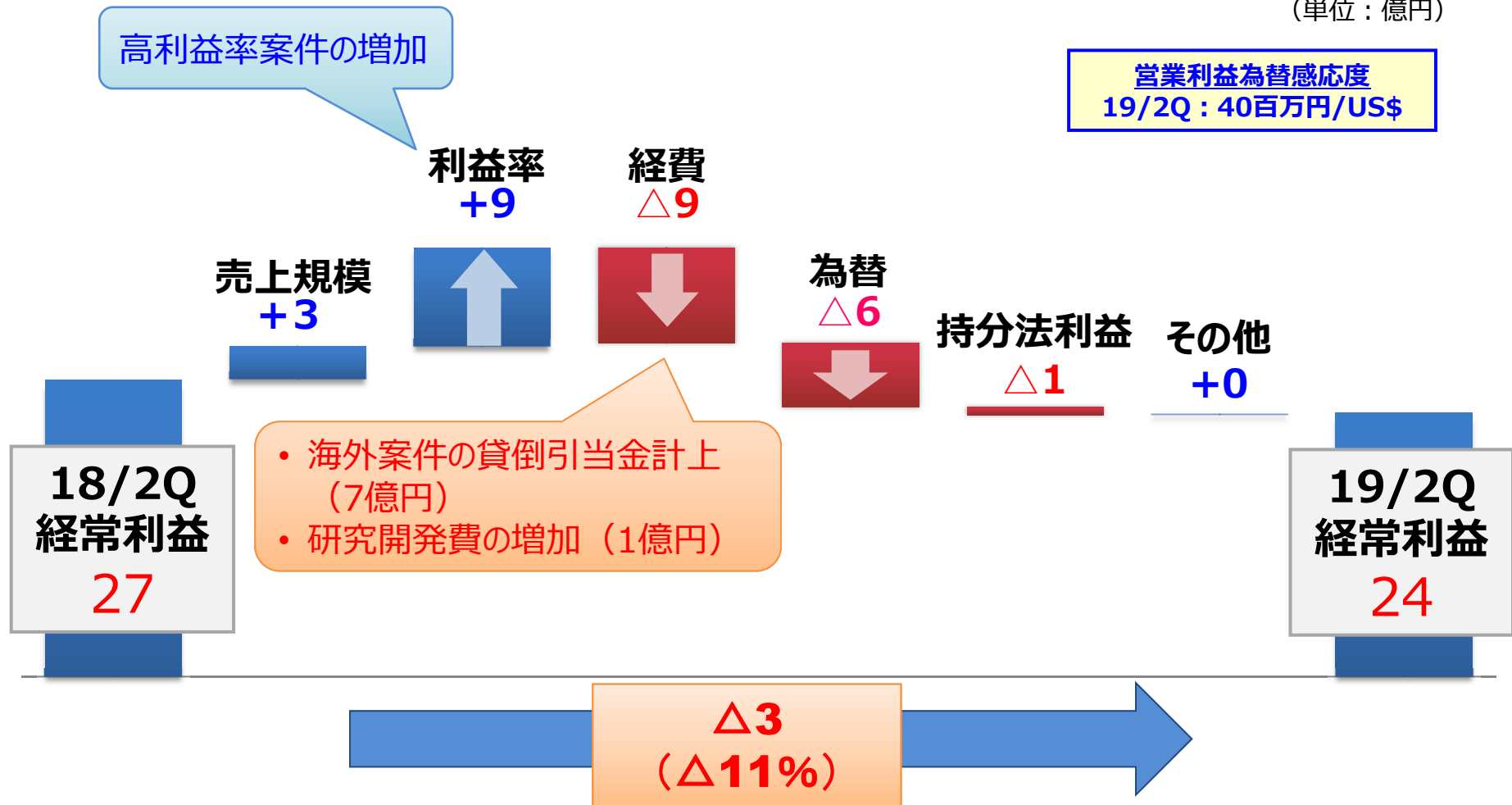
ネガティブ・ファクター

- 国内自動車関連向け自動化設備は軟調
- 貿易摩擦長期化による設備投資意欲の停滞
- 海外案件の債権回収リスクによる貸倒引当金の計上

経常利益分析

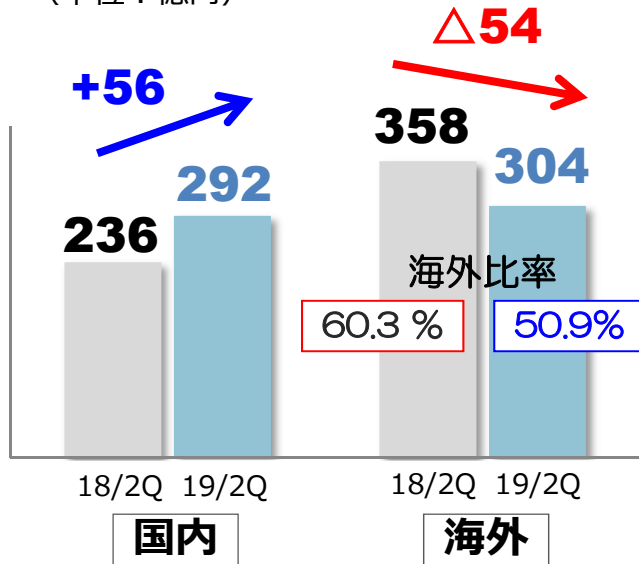
11

(単位：億円)



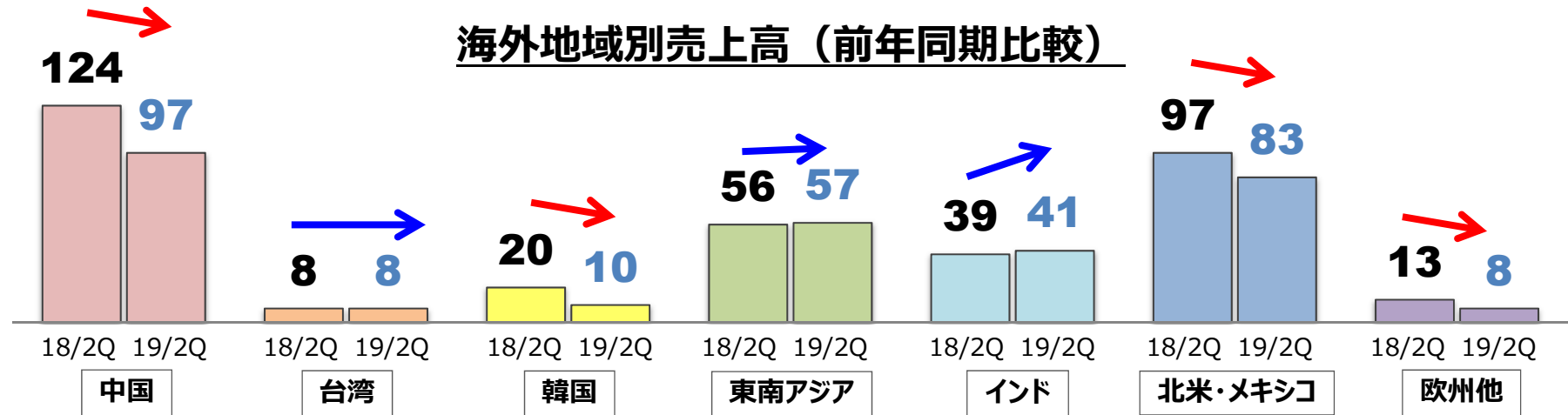
国内・海外売上高（前年同期比較）

(単位：億円)



- 国内：
 - ▶ 【DC】【押出】【工作】増加
 - ▶ 【射出】減少
- 中国：
 - ▶ 【工作】増加
 - ▶ 【DC】減少
- 東南ア：
 - ▶ 【工作】増加
- インド：
 - ▶ 【DC】【工作】増加
 - ▶ 【射出】減少
- 北米・メキシコ：
 - ▶ 【射出】減少

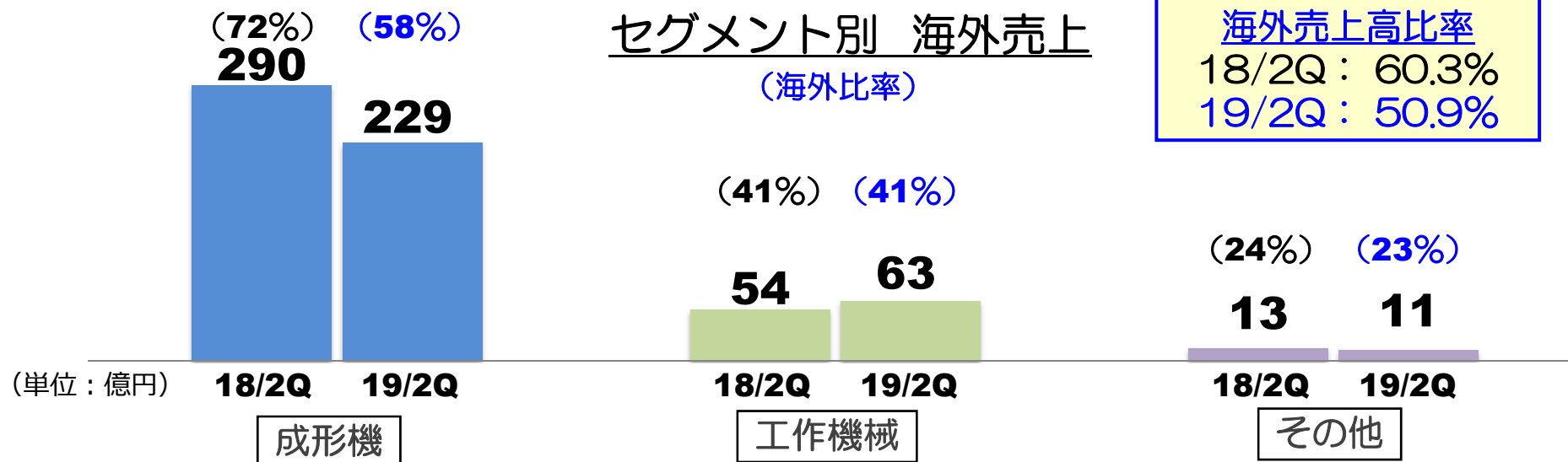
海外地域別売上高（前年同期比較）



海外向けの売上高・比率（セグメント別）

セグメント別 海外売上 (海外比率)

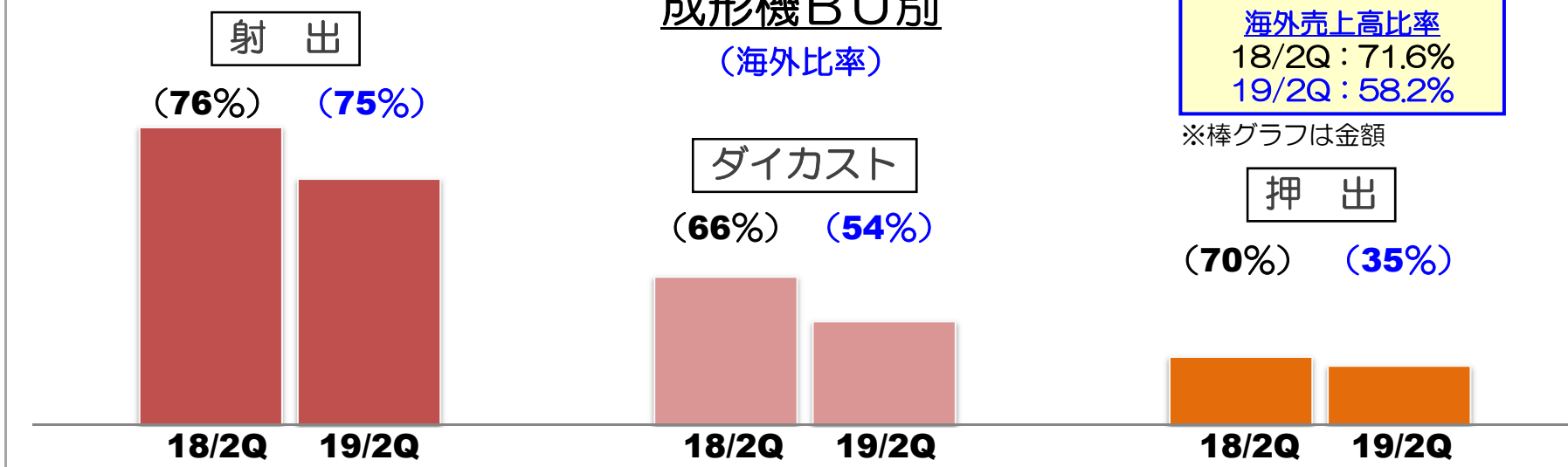
海外売上高比率
18/2Q：60.3%
19/2Q：50.9%



成形機BU別 (海外比率)

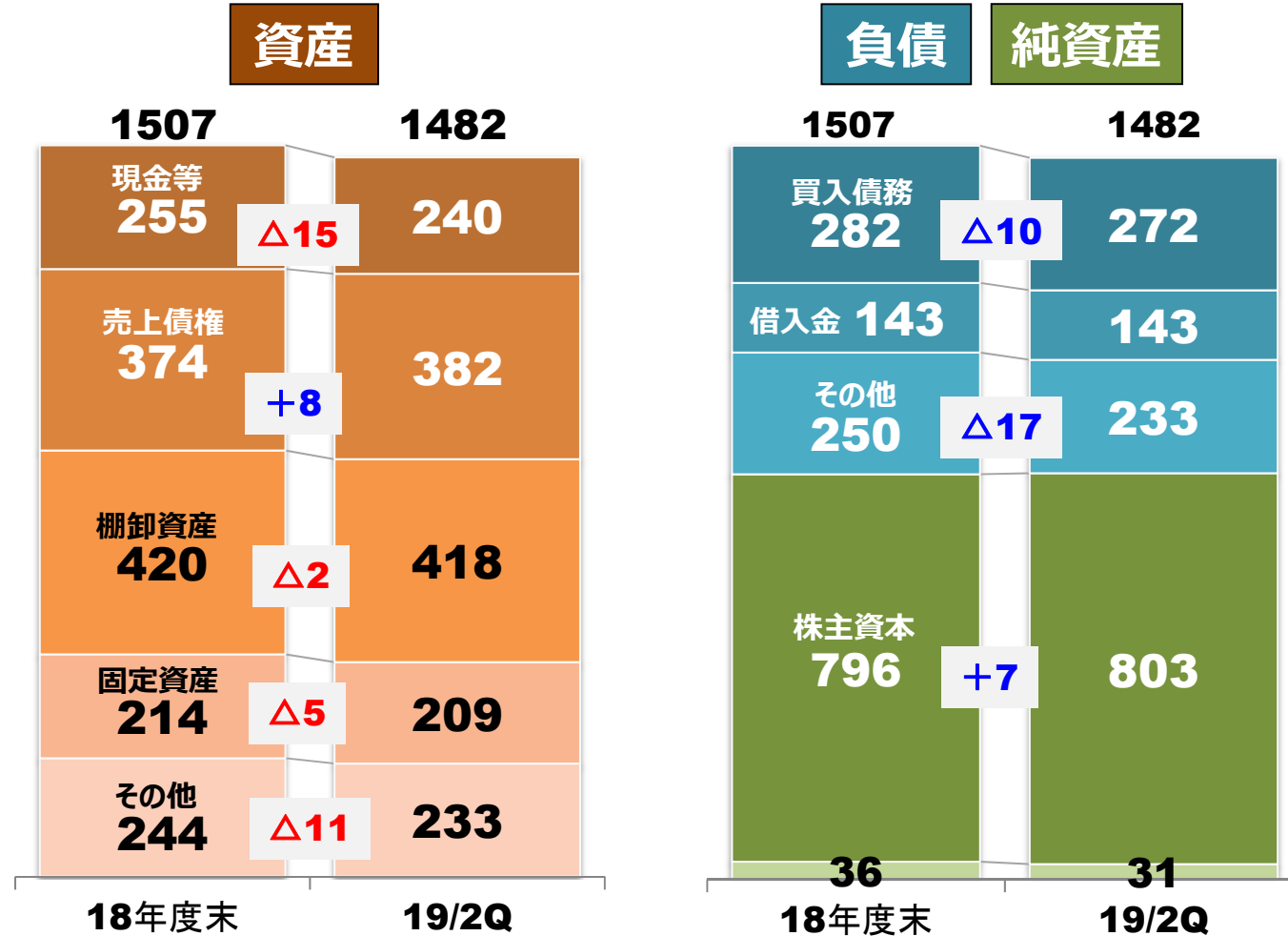
海外売上高比率
18/2Q：71.6%
19/2Q：58.2%

※棒グラフは金額



貸借対照表

(単位：億円)



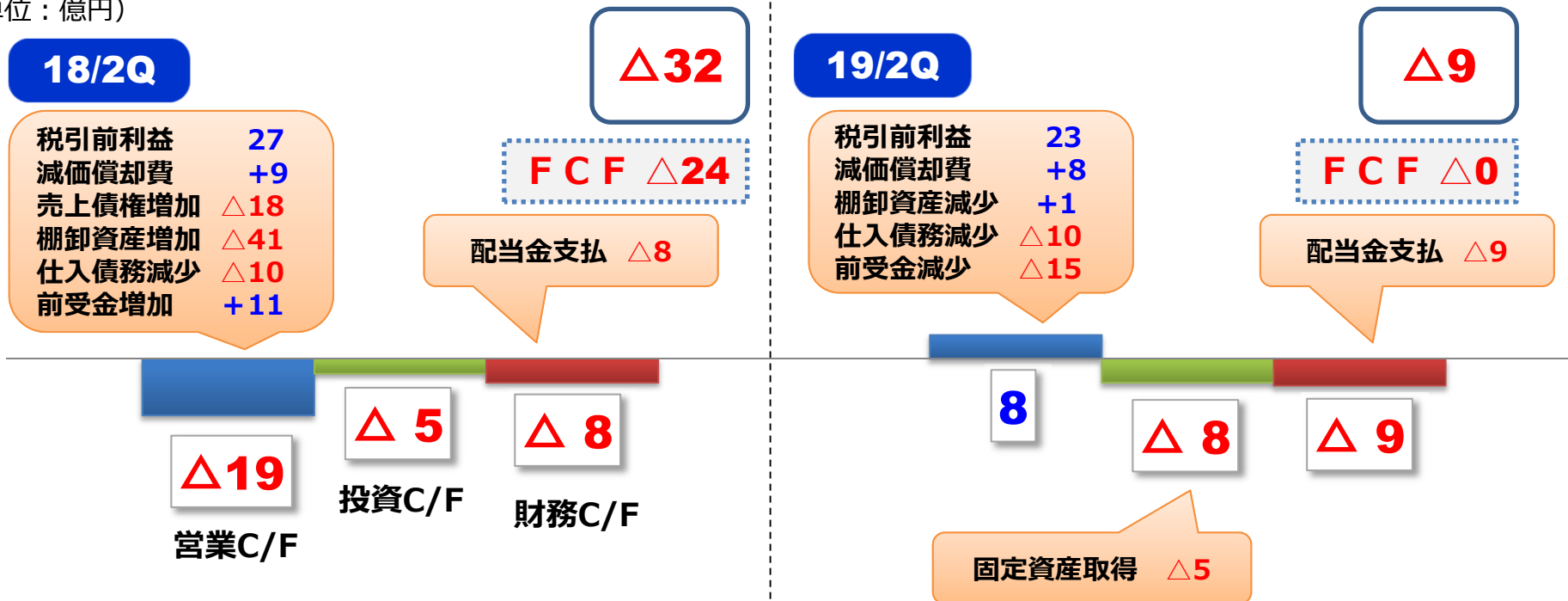
	19/3月末	19/9月末
自己資本比率	55.2%	56.3%
D/E比率	17.3%	17.3%
総資本回転率※	0.78 回転	0.80 回転

※ 期首・期末の平均を使用

キャッシュ・フロー計算書

15

(単位：億円)



	18/2Q	19/2Q	増減
現金及び同等物 期首残高	307	255	Δ52
営業活動によるC/F	Δ19	8	27
投資活動によるC/F	Δ5	Δ8	Δ3
財務活動によるC/F	Δ8	Δ9	Δ1
計	Δ32	Δ9	23
換算差額 他	2	Δ6	Δ8
現金及び同等物 期末残高	277	240	Δ37

2020年3月期

業績・配当予想（連結ベース）

1. 当社を取り巻く外部環境

項目	ポジティブ・ファクター	ネガティブ・ファクター
成形機セグメント 射出成形機 ダイカストマシン 押出成形機	医療・容器関連向け需要堅調 新成長分野（EV・HV）堅調 光学フィルム向け需要好調	国内外の自動車関連需要が低迷 国内外の自動車関連需要が低迷 自動車関連の影響が波及
工作機械セグメント	大型機のエネルギー向け需要復調傾向 北米航空機・建機向け復調傾向 自動車・光学向け需要の伸長継続	国内金型向け需要の低迷 中国の停滞局面継続
全般	EV含む自動車関連向け需要の拡大 光学・5G関連向け需要拡大 半導体需要が増加傾向	通商問題長期化による市況の悪化 英国のEU離脱問題

2. 概要

(1) 施策

- 事業収益性向上 : 「機械メーカーの総合力」を活かした社内プロセス改革
- 経営体質強化 : 「収益性重視」への変革・成長のための投資強化
- ブランド力強化 : 新ブランドの醸成・「価値共創メーカー」への進化

(2) 業績見込（前期比）

為替の変動と貸倒懸念リスクにより増収減益

2019年度 業績サマリー

18

(単位：億円)

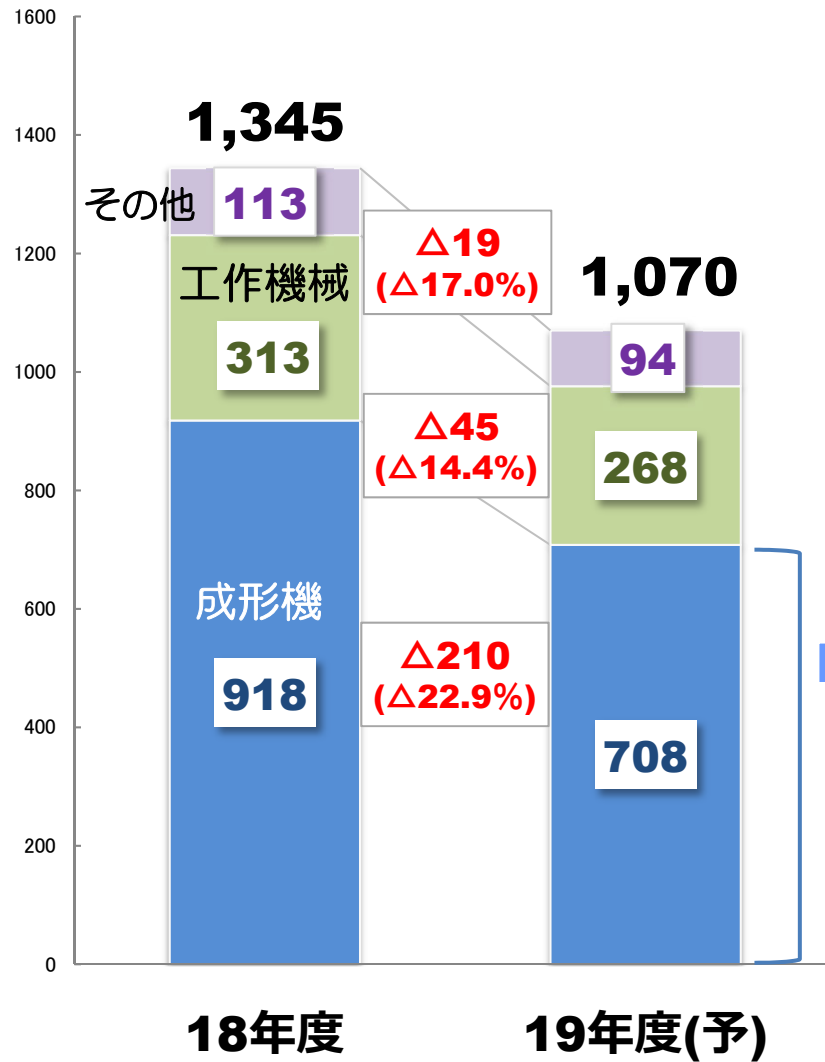
	2019年度 予想	2018年度 実績	増 減	2019年度予想 (2019/5/9公表値)
売 上 高	1,180	1,174	+6	1,220
営 業 利 益	33 2.8%	38 3.3%	△ 5 △ 0.5%	53 4.3%
経 常 利 益	38 3.2%	55 4.7%	△ 17 △ 1.5%	63 5.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	26 2.2%	40 3.5%	△ 14 △ 1.3%	44 3.6%
受 注 高	1,070	1,345	△ 275	1,250
為替レート (USD)	105	111 円		105

受注高 (セグメント)

19

(単位：億円)

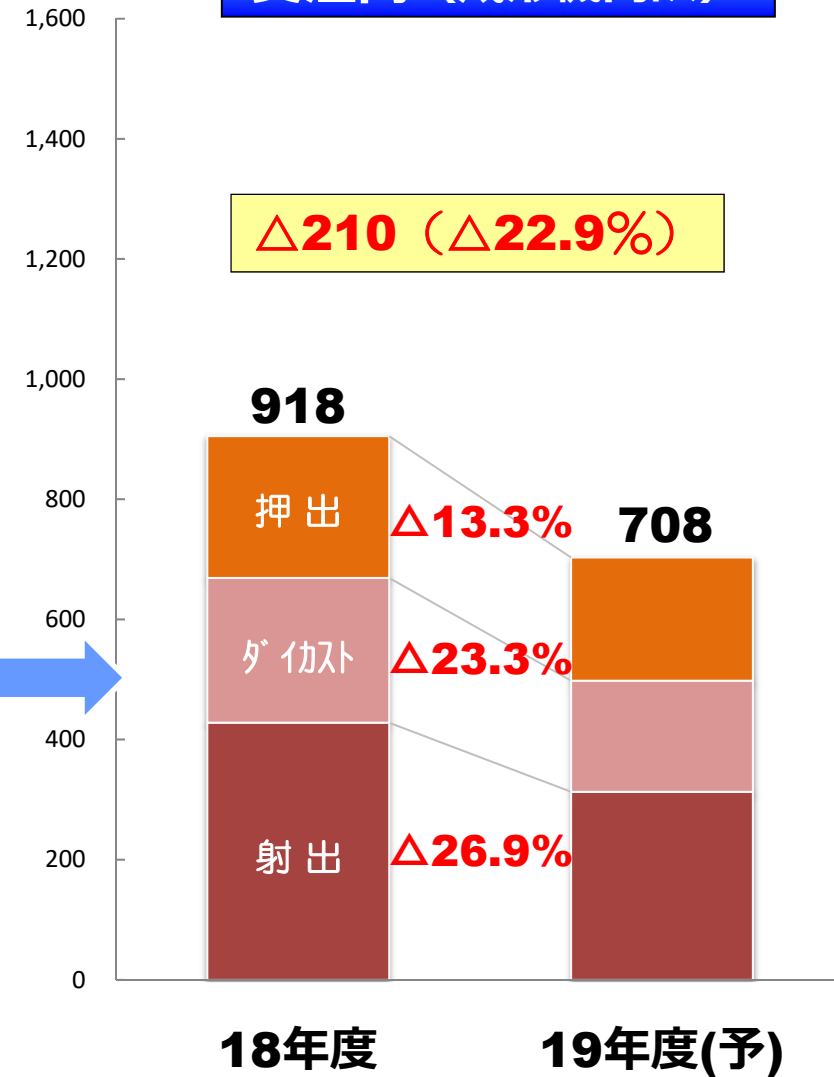
△27 (△20.4%)



(単位：億円)

受注高 (成形機内訳)

△210 (△22.9%)

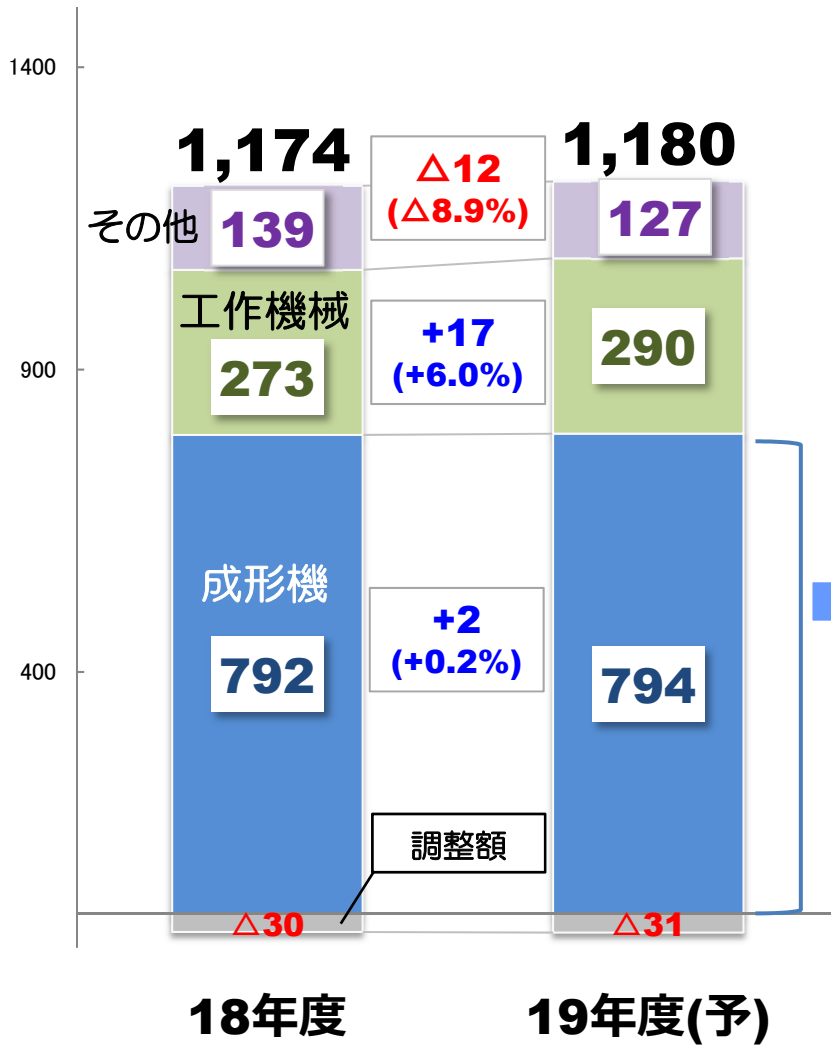


売上高 (セグメント)

20

(単位：億円)
※連結消去後

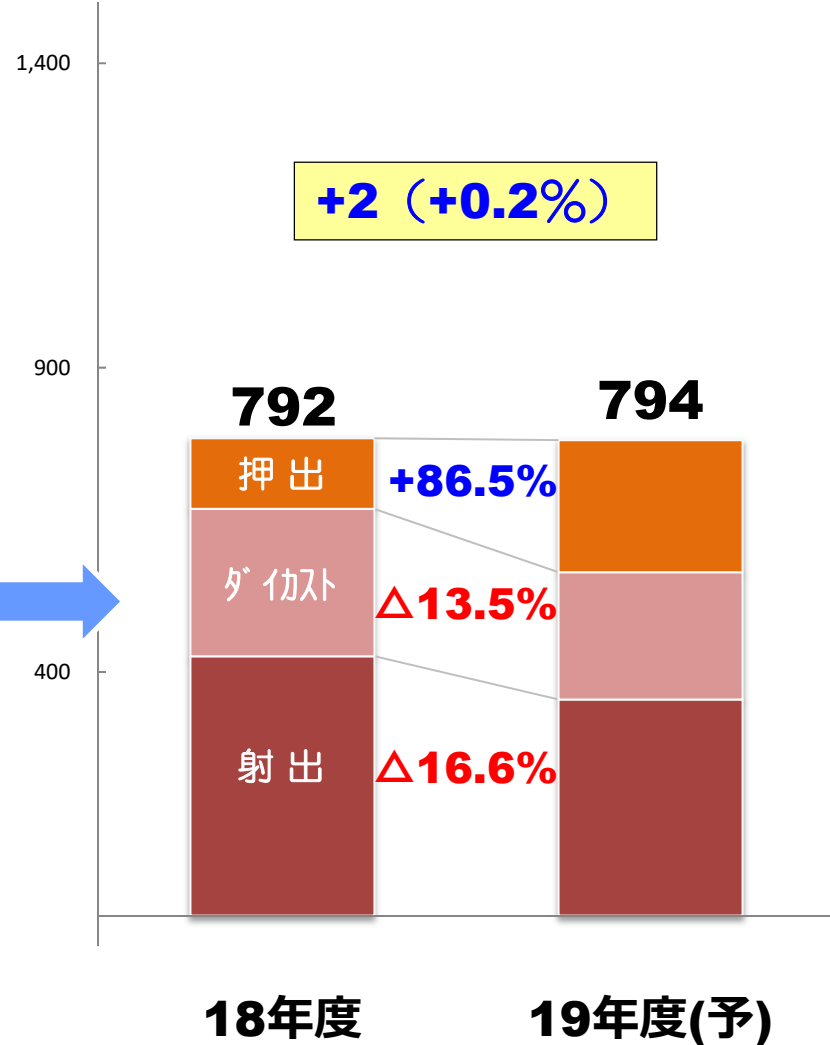
+6 (+0.5%)



(単位：億円)
※連結消去後

売上高 (成形機内訳)

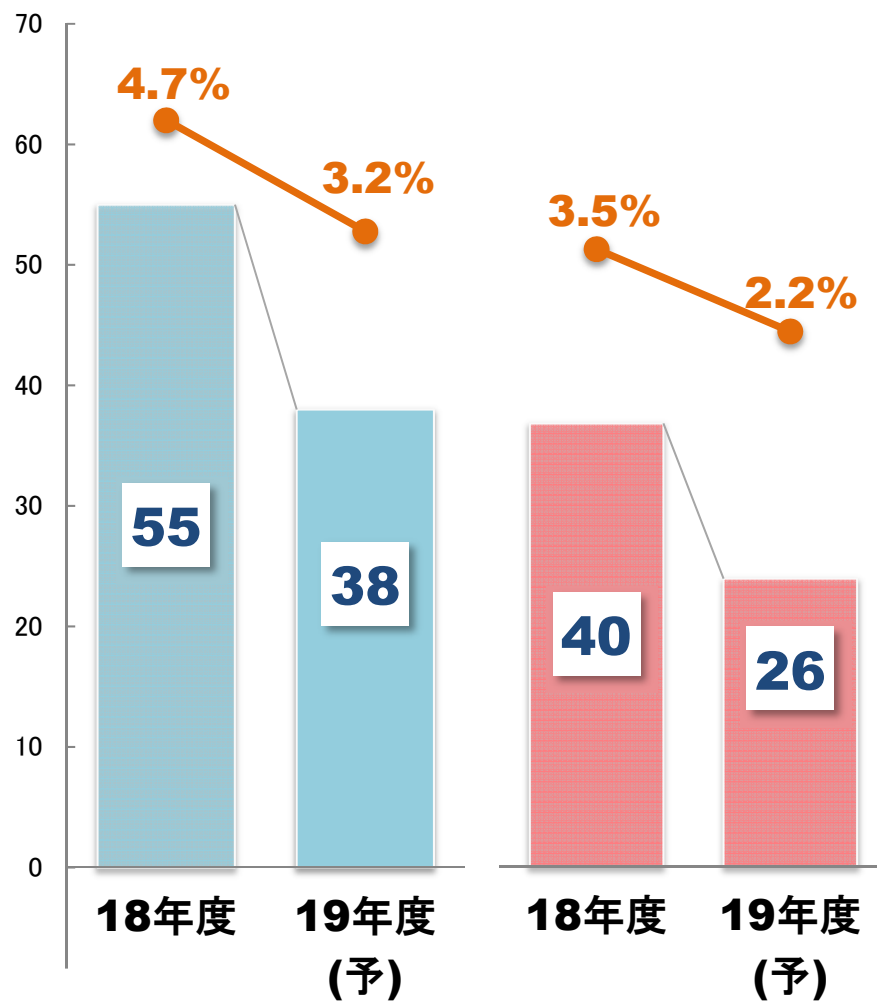
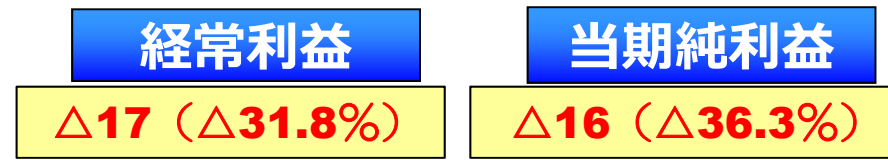
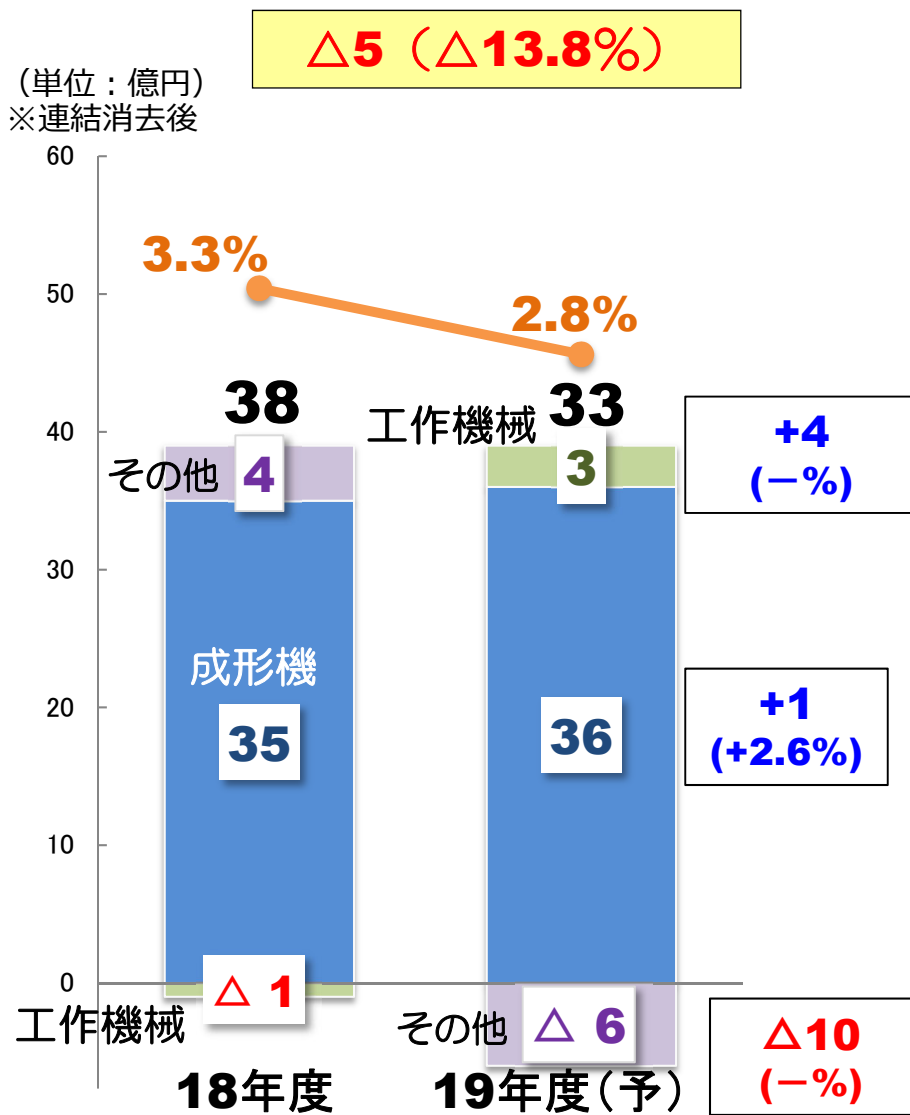
+2 (+0.2%)



営業利益 (セグメント)

経常利益・当期純利益

21



(単位：億円)

(射出成形機・ダイカストマシン・押出成形機など)

	2019年度 予想	2018年度 実績	増減額	増減率
売上高	794	792	+2	+0.2%
営業利益	36	35	+1	+2.6%
利益率	4.5%	4.4%	+0.1%	

2019年度 業績要因分析

+

ポジティブ・ファクター

- 【射出】欧州、メキシコの販売活動に向けた拠点強化
- 【DC】EV・HV関連向け需要が堅調
- 【押出】光学フィルム向け需要が堅調

-

ネガティブ・ファクター

- 【射出】中国・北米の受注環境悪化
- 【射出】国内大手顧客の設備投資停滞
- 【DC】中国・北米(含メキシコ)の受注環境悪化

(単位：億円)

(工作機械、精密加工機など)

	2019年度 予想	2018年度 実績	増減額	増減率
売上高	290	273	+17	+6.0%
営業利益	3	△1	+4	—
利益率	1.2%	△0.5%	+1.7%	

2019年度 業績要因分析

+

ポジティブ・ファクター

- 【大型】重電・産機向けの復調傾向
- 【大型】北米航空機・建機向け復調傾向
- 【精密】自動車用含む光学金型向け需要が堅調

-

ネガティブ・ファクター

- 基幹部品価格上昇の一部影響継続
- 半導体・鉄鋼等の需要停滞継続
- 金型用設備の需要停滞

(単位：億円)

(産業用ロボット、電子制御装置など)

	2019年度 予想	2018年度 実績	増減額	増減率
売上高	127	139	△12	△8.9%
営業利益	△6	4	△10	—
利益率	△5.0%	3.1%	△8.1%	

2019年度 業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 東南アジア向け販売強化
- 省人化・省力化に向けての需要拡大
- システムエンジニアリング事業による利益拡大



ネガティブ・ファクター

- 海外案件の債権回収リスクによる貸倒引当金の計上

配当金の決定に関する方針

当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。

利益剰余金につきましては、企業の継続的发展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆さまへの適正な利益還元を実施してまいります。

	第2四半期末	期 末	年 間	配当性向 (連結)
2018年3月期	7 円 00 銭	7 円 00 銭	14 円 00 銭	33.7%
2019年3月期	7 円 50 銭	※1,2 37 円 50 銭	※2 —	44.4%
2020年3月期 (予想)	※3 42 円 50 銭	※3 42 円 50 銭	85 円 00 銭	78.9%

※1 2018年10月1日に実施した株式併合の影響を考慮しております。

※2 株式併合考慮前に換算した2019年3月期 期末配当は7円50銭、年間配当は15円00銭となります。

※3 2020年3月期（予想）の第2四半期末および期末配当には、それぞれ記念配当5円00銭を含んでおります。

以 上

本資料に記載している将来の当社業績に関する見通しは、現時点での把握可能な情報に基づいて作成したものです。

実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、これらの業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。

お問い合わせ先

東芝機械株式会社 経営戦略室

T E L : 055-926-5072

F A X : 055-925-6560

URL : <https://www.toshiba-machine.co.jp>